

▶ contents.

町政懇談会「いきいき・ふれあいトーク」 ②

こんにちは保健師です | 乳がんの予防は「検診+自己検診」 ⑨

第59回羽幌町民芸術祭 ⑫

情報プラザ | 10月から子ども手当が変わりました ⑭





特集 町政懇談会

いきいき・ふれあいトーク

◆朝日公園(菖蒲園)・菖蒲の花が少なくなり、残念な状態になっている。国道には大きな看板もあるのに、...。専門家にお願いで、植え替えするなど、菖蒲をきれいに咲かせてほしい。(同様の意見、いきいき女性でも有)

◆朝日公園(菖蒲園)・菖蒲の花が少なくなり、残念な状態になっている。国道には大きな看板もあるのに、...。専門家にお願いで、植え替えするなど、菖蒲をきれいに咲かせてほしい。(同様の意見、いきいき女性でも有)



町長と直接対話の場、町政懇談会を開催しました。今年度は、より参加しやすく話しやすい形態で、より幅広い町民のみなさまの声を聴こうと、各年齢層や対象ごとに「いきいき・ふれあいトーク」として7月から順次開催。老人、女性、子育て世代のパパママ、また、中学生と高校生も対象に開催し、各層や世代ごとに様々な視点から、活発な意見交換が行われました。

また、天売、焼尻両島では、今年も離島地区町政懇談会を開催しました。今後は、10月に産業別町政懇談会、11月には、「いきいき・はぼろふれあいトーク」として対象を限定せずにどなたでも参加できる形態で開催を予定しています。

「ご意見、ご要望、ご提案等は、充分検討し関係機関とも協議を進めながら、今後の町政に活かし、できることから取り組んでまいります。今月号では、9月まで開催分の意見交換の一部を抜粋してご紹介します。(印は参加者の発言内容、印は町長他の発言内容です。掲載の都合から、発言の内容は一部その後の対応を含め、編集して掲載しています)

いきいきシルバーふれあいトーク

朝日公園について

◆朝日公園(菖蒲園)・菖蒲の花が少なくなり、残念な状態になっている。国道には大きな看板もあるのに、...。専門家にお願いで、植え替えするなど、菖蒲をきれいに咲かせてほしい。(同様の意見、いきいき女性でも有)

地デジ対応について

◆上築集会所のテレビだが、チューナーを買いなおしてものなので困っている。町で助成する余裕はないか。

施設の整備や改修の要望

◆老人憩いの家のカラオケセットがだめになっている。どうにかしてほしい。

お祭り・郷土芸能について

◆羽幌のお祭り。すごく感激する。町の一大イベントだが、

開催月日	懇談会名	対象・案内先	開催場所	参加人数
7月27日	いきいきシルバー・ふれあいトーク	羽幌町老人クラブ連合会	老人憩いの家	43名
8月9日	いきいき女性・ふれあいトーク	町内女性団体・町内会女性部	すこやか健康センター	28名
8月22日	いきいきジュニア・ふれあいトーク	羽幌中学校・羽幌高校生徒会執行部ほか	役場4階大会議室	15名
8月29日	離島地区町政懇談会(焼尻)	焼尻地区のみなさん	焼尻研修センター	37名
8月30日	離島地区町政懇談会(天売)	天売地区のみなさん	天売研修センター	23名
9月20日	いきいきパパママ・ふれあいトーク	小学校就学前のお子さんを子育て中の保護者	すこやか健康センター	13名

☞各会場での意見交換の内容は町ホームページにも掲載しています。☞お問い合わせ 総務課広報聴係 ☎62-1211



いきいき女性 ふれあいトーク

◆パークゴルフ場について
夜間照明について、夜の利用者はほとんどいないと思うが、どうなんですか？

この春から、常時点灯をやめて、使うときだけ点灯するように変更している。曜日も決め、効率のいい手法に変更しました。

◆協力金のことは、たまにか行かない人はわからない。浸透していないのでは。毎日行ってる方は毎日きちんと入ってるんですか？どのくらいの人がきちんと協力しているんでしょうか？

協力金は最初、年間で80万円近く集まっていたが、今は30万円にもいかない。もちろん、集まった協力金はパークゴルフ場のために使われるので、善意の良心から考えて、ご協力いただければと思います。

◆パークゴルフ場の夜間照明が常時点灯でなくなったことに関連するが、サッカー少年団で自転車を利用して帰る子どもたち、練習の帰り、遅い時間は暗くなり危険です。サッカー

場はスポーツ公園の奥にあり、途中には砂利道もあるし、最近は何の出没もある。なんとかならないでしょうか。

練習で暗くなつてから帰る少年団は他にもある。全体的な問題として考えたい。当面の対応として、子どもの安全について配慮するよう少年団に要請し、照明などの整備については利用状況や電源の確保等の問題もあるので、今後の課題として検討します。

◆子ども達の自転車マナーが悪い。ライトをつけずに乗っている子も多い。
マナーは家庭でも学校でも普段から教えずにはならない。(※少年団や学校を通じ交通安全の指導を要請の他、広報で地域に向け啓発記事を掲載して対応)

自転車マナーについて

◆花が咲いた後の花ガラが、たくさん残っていて残念。きれいにしてほしい。職員は花ガラ摘みに1日中せいっぱいだが、

バラ園について

われるようにするのは我々の役目。また、住民のみなさんにもそこにいるるなことをやっていただくことで、自分達のものだ、自分達で守らなくてはという意識が広まっていく、そういう意識も大切だと思っている。

雇用対策について

◆進学などで、一旦は羽幌を出ても、将来は帰って来たい生徒はたくさんいるが、町は雇用対策を何かしていますか。
町でやるのは雇用対策というより雇用のための「地域の活性化」。たとえば公共事業をやることでその会社が成り立ち、そこで働いている人の給料が賄われ、雇用が守られるという構図がある。企業誘致とかで新たな雇用を生むというより、この地域の経済を活性化することから、なんとか雇用を広げようという取り組みをしている。

羽幌について

◆町長は羽幌をどんな町だと思えますか。
▼羽幌は隣近所や地域の繋がりの強い町。人口が減ってはいるが、ある意味、今



いきいきジュニア ふれあいトーク

炭鉱跡地の活用について

◆炭鉱跡をもっと観光的なものとしてアピールしたいと思う。今、廃墟ブームで若い人に人気となっている。今は、草刈をしたりする程度で、廃墟のままの姿を見ていただいている。手をかけて、観光産業にもっていくのはなかなか難しい。今年は観光協会がパンフレットを作った配布したりしている。今の状況の中で、やれることをやっている。

◆これから町は、教育と高齢者の福祉どちらに力を入れた活動をしていこうと思っていますか。
選択肢は二つだけではない。高齢者に対しては町として取り組みなくてはならない現実がある。一方、その高齢者を支えるのは若い人だ。高齢者を支えるように大きくなってほしい。みなさんの勉強する環境は、町もサポートを思っている。教育か福祉かではなく、みんなのためにやっていきたい。

教育と福祉について



が、ある意味、今



手が回っていないと思う。ボランティアでやるのもいいと思う。バラ園は、きれいな花を咲かせるために専門家の指導を受けながら、嘱託職員が管理している。花ガラ摘みも行っているが、対応に行き届かない面があれば今後改善していきたい。

◆中学校前の通りの街路樹。町の花ツツジが植えられ、とてもきれいだったが、この冬の大雪で、除雪で押されてかなりダメになった。街路樹は枝払いなどされているが、下のほうは草でひどい。きちんと管理し、なんとか解決の方法はないでしょうか。

◆緑はなくてはならないが、伸び放題になると、電線にもひっかかるし、いっそ木をやめて花にという意見もあるが、難しい。

中高生へのアドバイスは

なにか、僕たちがしたほうがいいことありますか。
東日本大震災の義援金の活動など、みんなが自主的に取り組んだ姿は、大人の世界にも大きな感動を与えました。学校内のことはもちろんだけれど、外に向けて、視点を変えて取り組むといいと思う。自分たちで考えてやる気になったことが本物だと思うから。

東日本大震災への町の対策

◆義援金はどうなったのかと、羽幌町として特別なことをやったのか知りたい。
義援金は日本赤十字社を通じて被災地に送っています。支援については広報でも紹介したが、消防が2班8名、役場から4班8名が現地に行った。石巻市から直接要請があったが、職員は大変な中で仕事をしています。(義援金総額などは広報7月号15頁をご覧ください)

が、ある意味、今



◆役場前の通り、植樹枡に花もなく、さみしい。日赤奉仕団が草取りをしているが、草取り後は緑も花もなく、土だけ。通りがきれいだと気持ちがいいし、心がなごみます。
◆植樹枡は土も足りない。客土しないとだめな状態の枡が多い。
◆役場で無料配布しているコンポストも利用できるのでは。環境美化については、町内会やボランティア団体などで取り組まれています。管理されている所がある一方、管理できない又は年々管理が難しくなっている所もあることから、今後の対応について検討していきます。町の中の緑化計画ということで、今、取り組んでいる総合振興計画という大枠の中でとらえていかなくてはならない問題と思っています。





いきいきパママ ふれあいトーク

保育園について

◆保育園の先生たちがいつもすごく忙しい。園での子どもの様子とかを、おたよりのなもので情報発信してほしい。忙しくてできないと言われた。直接聞いてと言っても聞きづらい。もう少し先生たちがゆったり保育できる方法があると思う。保育士の体制は定められた人数配置で動いており、保育士が足りないということではない。経験などにより慣れない中でということも考えられる。どういう状況でそうなっているのか調べ、工夫してみたい。

出産のとき、病院が遠くて大変でした。病院の問題は、子育て世代だけではなく大変な問題。地域の安心につながる絶対条件と思っている。医師確保の政策として研究費用の支援など独自対策もとっているが、なんとか少しでも前進するよう最大限の努力をしたい。

保育政策について

◆保育政策について国の政策がというが、政権が変わったら町の考えも変わるのか、町としてこうやりたいという意見はあるのか。政権の問題ではなく、今、幼稚園と保育園が本来の意味で一本化できないものかという話にやっとなっている。保育園の保育内容は幼稚園化して

きているし、幼稚園は長時間保育が求められ保育園化してきている。以前は福祉と教育で色分けされていたが、今は見分けがつかない状況になってきている。保護者のニーズもたくさんある中で、一本化は、今本筋かなと思う。町立保育園一つと私立の幼稚園二つという状況を考えれば、こうあるべきという強烈な目標はできていない。次の世代へどう繋いでいくのか慎重に考えなくてはならない。

◆幼児一元化のときは、公立になるのか？
まだわからない。しかし、制度が変わる狭間で保育園の建て替えの問題がある。どうするかたちが一番いいのか、流れの中で幼保一体化も考えなくてはならない。財政や規模のことも含めて保育園のあ

り方を考えようとしている。結論は今年中に出したいと思っている。基本的立場として、民間の取り組みを圧迫したくないということもある。

集いや遊びの場について

◆親子で気軽に遊びに行く場所がほしい。1歳を過ぎると「あいあいサークル」の対象年齢を外れるし、次の「小苺くらぶ」は1歳6ヶ月からが対象。「うさこちゃん遊びの広場」もあるが、週2回だけ。公園などもあるが、特に天気の良い日や冬は行くところがなく困っている。事業のその他の日もなにかあるといい。

◆健康センターで事業のない日には、その場所を開放してくれてもいい。場所さえあれば自分達で自由に行って遊べる。総合体育館にキッズル

ムあるが遊べる遊具がもつとあるといい。年中、年少には物足りない。アリーナでもなにかできるといい。

◆小さい子から小学生に毎日解放していて、いつでも自由に行って遊べる場所、児童館があるといい。

◆働いているお母さんが多くて、留守家庭児童会（こぐまさん）も子どもが多すぎて、狭い場所できゅーぎゅー詰りになって遊んでいると聞く。児童館のようなどころがあるといい。
児童館という呼び方はともかく、いつでも気軽に親子で行ける場所ということと思う。指導員が必要とか、様々なことを整理し、どのくらいニーズがあるかも含め考えたい。いろいろな子育て支援のなかで、なにができるか検討してみたいと思います。



保育士による託児を実施して開催

離島地区町政懇談会

離島航路の運行体制（焼尻）

◆新しい高速船はどのようなのか。もう決めたのか。島民の意見は入っているのか。今でも、ちょっと時化たら出られないのに、今より小さく荷物も積めないのに本当にいいのか。

赤字航路なので、1隻体制が検討されたが、やっとならぬ方向が固まった。理由は、ドック期間の代船がないこと、日帰り観光が難しくなること、離島住民の利便性が悪いということ。2隻ともフェリーにするには、2隻分の貨物需要がなければ国の認可がおりない。フェリー1隻と、もう1隻は高速船。昨年、国、道、羽幌町、事業者、関係機関と利用者代表の各島1名で協議会を組織し1年かけて協議し検討した結果だ。国の補助を受けるため、船の大きさも制限される。10%小型化することで、補助が1割出る。最終的な仕様はまだ決まっていない。

検診や高齢者の病院受診の問題について（天売・焼尻）

◆乳がんの無料券、せっかくの無料券だが、送ってくる時



焼尻地区

期が遅い上、道立羽幌病院では、受ける曜日も受付時間も決まっている。島からでは2日かかりでの受診になるので、その辺を考えてほしい。

国の制度開始時期が遅く送付の時期が遅れた。受診時間については病院に意見があったことを伝えていきたい。

◆高齢者が道立羽幌病院の眼科を受診する人が多い。混んでいるのと受付時間の関係から最低でも2泊3日かかる。島の人だけ受付を電話でできるようにとか、受付時間を融通してもらおうとか、1泊ですむようなんとかしてもらえないか。

◆高齢者が島外で診察を勧められることが増えている。日帰りできる時はいいが、秋から冬はちょっとした検査で行っても

2〜3泊必要。ましてや旭川、札幌ならなお大変。順調に帰れる時はいいが、時化で延びた場合などなんとか特例ないか。

◆年金暮らしの高齢者が多く、病院の受診により生活を脅かされる。先生に進められても行けないことがある。
受付時間の工夫などは道立羽幌病院に強く伝えていくが、離島対策として離島部分の振興計画というか、なにかしら大きな計画をたてて、その中で個々のことを取り組んでいく必要がある。検討してみる。

天売高校の存続について

◆天売高校の存続を訴えたい。日本一小さな高校。過疎対策にも有効。島全体の大きな問題だ。

道立高校の統廃合が厳しく言われているが、基本的には町立高校なので、町の意志が尊重されると道から聞いている。存続したい気持ちは充分持っている。しかし、今年に入学者ゼロ。人数が少なくても入学者がいるうちはいいが、ゼロが続くと厳しい。そうなる前に方策を考えなくてはならない。子どもが少ない中で他町村から呼ぶことも考えるのかも含め、島のみならず話し合うことが必要なのではと

か考えている。

アザラシ対策について（焼尻）

◆アザラシが年々増えている。なんとかしてほしい。資源への影響が心配。最近タコなど顕著に減っている。

国や道にも訴えているが抜本的対策がない。我々も頭を抱えている。他の補償の方法も含めて、今検討しているが簡単にいかない。

マムシ対策について（天売）

◆マムシの駆除を本格的にやってほしい。いろいろな情報や効果を調べたりしてほしい。

懸案事項でもある。看板を見て観光客は驚かれるという話も聞く。どんな方法があるか考えてみたい。

◆仮に天売でマムシ被害あったらどうなるのか、対応を取れるようにしておく必要がある。それを島民に周知する必要もある。マムシ対策、対応を含めたマニュアルをまずは整備し作っていく必要がある。

子育て支援 浜のパートナー確保の施策について（天売）

◆若いお母さんが子どもを連れて集える場所があるといい。

ちびっ子ランドがあるが、3歳未満の子が遊べる場所がほしい。また、島内の高齢化で浜のパートナーが足りない。共同生活できる場所があれば、島外から若い人を集めて、何件かの漁師で共同で頼めると思うが。場所があれば、もう一歩話が進むということと思うが、具体的な案などあれば出してほしい。
病院受診や高校の問題、生活のいろいろな事柄について、振興計画の中で、島のあり方を形づくって取り組まなくてはならない時期にきている。それに向かって一つひとつ積み上げていく時期にきている。みなさんの意見をいただきながら、そういう体制をつくっていききたい。



天売地区



今月の料理 | チーズじゃがもち
バナナじゃがもち

じゃがいもを使ったおやつ

食育をテーマに親子で作れる簡単料理を隔月で紹介しています。

幼児期から食べものをバランスよく食べるため、さまざまな知識を身につけることが必要です。親子で一緒に料理を作って、食べることを通して「食」を楽しむ気持ちや食べものの大切さなどを育みましょう。

【材料：各4コ分】

じゃがいも・・・240g
片栗粉・・・大さじ4
砂糖・・・小さじ2
食塩・・・少々
サラダ油・・・適量

ちりめんじゃこ・・・小さじ2
乾燥パセリ・・・少々
スライスチーズ・・・1枚
しょうゆ・・・少々
かつお節・・・適量
バナナ・・・4切れ
ブルーベリージャム・・・適量

チーズ
バナナ

【作り方】

- 1 じゃがいもは、皮をむいて適当な大きさに切る。ラップで軽く包み、電子レンジでやわらかくなるまで加熱する。(5~6分程度)
- 2 ビニール袋にじゃがいもを入れ、手でつぶす。片栗粉と砂糖を加えて、よく混ぜ合わせる。(ふきんなどを使い、やけどに注意する)
- 3 (チーズじゃがもち) 2の半量にちりめんじゃこ乾燥パセリを加えて、よく混ぜ合わせる。スライスチーズは4等分に切り、小さく折りたたむ。
- 4 3を4等分に分け、手で丸める。平たくのばして、真ん中にチーズをのせて丸く包み、平たい団子状にする。
- 5 (バナナじゃがもち) 2の残りを4等分に分け、手で丸める。平たくのばして、真ん中にバナナをのせて丸く包み、平たい団子状にする。
- 6 ホットプレートに油を薄く敷き、ふたをして両面を焼く。(弱~強火で各3分ずつ)
- 7 チーズじゃがもちにはしょうゆをぬり、かつお節をかける。
- 8 バナナじゃがもちにはブルーベリージャムをのせる。



芳賀 実里^{みさと}ちゃん(3)

先月に3歳を迎えたばかりの実里ちゃん。すこやか健康センターの子育て教室でお友達と遊ぶのが大好きな女の子です。最近はキッチンでお母さんの横に立つことも増えたそうで、この日も淡々と工程をクリアしていました。そんな実里ちゃんは家族一緒に食べるご飯が一番。家ではトッピングを工夫して「違った味のじゃがもちに挑戦したい」と張り切っていました。

食 べ物の好みや食事のしかたなどの食習慣は長い年月をかけて身につくものです。よい食習慣を身につけるためには、幼児期や学童期などその年代にあった食育が大切です。

幼児期

食事のリズムができる、食べものを味わう、食への関心が持てるなどの基本的な「食べる力」を育む時期です。できるだけ家族と一緒に楽しい食事の機会を増やしていきましょう。

学童期

小学生になると給食も始まり、家族以外の人(友だちなど)と食事をする機会が増え楽しみの幅が広がります。また、食べること以外にも食に関する知識や料理をつくることに関心が高くなる時期でもあります。野菜の栽培や収穫などの体験も増やしてあげましょう。

監修・文 = 金子 和恵(管理栄養士)

チャレンジしたい親子を募集中!

内容 ▶ 親子で一緒に料理を作り、試食。「食」について学びます。

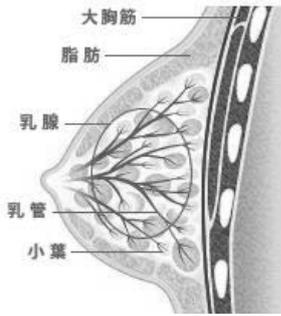
対象 ▶ 町内在住の小学生以下のお子さん(きょうだいも可)とその親

申込 ▶ すこやか健康センターへご連絡ください。

乳がんの予防は「検診＋自己検診」

文＝道端 珠子(保健師)

図：乳房の断面図



先 月に引き続き、今月はもう一つの女性特有の「乳がん」についてお話しします。

乳がんは日本人女性の約20人に1人がかかるといわれており、り患率、死亡率ともに年々上昇しています。(30歳代から増え始め、50歳前後がピーク)

初期にはあまり自覚症状がないため、乳房に変化がないかチェックを続けることが早期発見に繋がります。乳がんは、早期に見つけて適切な治療を行うことで治癒が望めるがんでもあります。

乳がんってどんな病気？

乳がんは乳腺に発生する悪性腫瘍です。最初は乳管や小葉の中にとどまっています(非浸潤がん)が、次第に乳管の外に広がり、周囲の健康な細胞を破壊するようになり、浸潤がんになります。

浸潤がんになると、がん細胞が乳房内の静脈やリンパ管に入り、全身へひろがってしまいます(遠隔転移)。そのため他のがん比べ、発見が遅れると転移しやすいという特徴もあります。(上図参照)

毎月やろう自己検診

自己検診を続け乳房の正常時の状態を知ること、小さな異常やしこりに気づくようになります。毎月日を決めて行いましょう。閉経前の方は、月経が始まって一週間後が適しています。

見てチェック(視診)

鏡の前で腕を上下するなどいろいろなポーズで乳房の左右差・しこり・くぼみ・ただれ・分泌物・皮膚の変化がないか確認しましょう。

触ってチェック(触診)

チェックするほうの腕を上げ、指の腹を使って乳房全体をくまなく触ります。乳頭を中心に円を描くようにしたり、肋骨に沿って横にずらしたりしてみましょう。

自己検診で何か異常を感じたら乳腺専門外来や外科を受診しましょう。

乳がん検診を受けよう

乳がんは、しこりなどはつきりした症状が現れるまで

表：羽幌町の乳がん検診受診状況

	H18	H19	H20	H21	H22
検診受診者数(人)	205	243	238	306	264
精密検査者数(人)	6	4	4	45※	30
発見がん数(件)	0	1	1	1	1

毎年1件のペースで乳がんが発見されています。

※検診委託業者変更により精密検査者数が増加。(過去のデータがなく、所見の比較ができないため)

にやや時間がかかります。触れてもわからない小さながんを早期に見つけるためには、画像診断マンモグラフィなどを取り入れた乳がん検診が大切です。



町でも年2回、乳がん検診を行っています。(今年度は終了)乳がんのリスクが高まる30歳を過ぎたら、2年に1回は検診を受けましょう。

まちの出来事

from.
photoclip

9月 | September

1 高齢者のみなさんのご長寿を祝う「羽幌町敬老の集い」が開催されました。式典では、三浦正さんと妙島ミサラさんに羽幌保育園の園児から花束が贈られました。(9/14)

2 羽幌高校の「ボランティアの集い」が行われ、生徒6名が秋の全国交通安全運動に参加しました。セーフティコールでは、用意した手作りの啓発グッズをドライバー1人ひとりに手渡し、交通安全を呼びかけていました。(9/21)

3 町の発展に貢献されたみなさんのご長寿を祝い、舟橋町長が100歳と米寿(88歳)になられた方の自宅に訪問し、記念品を贈りました。写真は幸町の板本繁松さん。「体を動かすことが健康の秘訣」と元気に話していました。(9/21)

4 澤井石油商事株式会社の澤井社長と門間羽幌営業所長が役場を訪れ、地域貢献活動として、教育委員会に絵本と図書カードを寄贈しました。(9/8)

5 運動神経を高めるコーディネーショントレーニング(COT)の体験会が開かれました。実技では、「サークルパス」などボールをつかった遊び感覚のトレーニングが紹介されました。(9/17)

6 「ふれあい広場2011inはぼろ」が開催されました。今年は、子どもみこし会(平向満代表)が約400個の風船を提供。風船には「がんばろう日本! 東日本大震災の復興を願って」のシールが張られ、一斉に空に飛ばされました。(9/11)

まちの出来事はホームページの「フォトクリップ」コーナーでもご紹介しています。



3



1



6



4



5



2

第59回 羽幌町民芸術祭

文化の秋、芸術の秋。中央公民館では子どもからお年寄りまでみなさんの作品を一堂に展示・発表します。

[展示部門]



10月30日(日)~11月1日(火)

午前9:00~午後9:00

(最終日は午後7:00まで)

- ・菊花展
- ・俳句展
- ・写真展
- ・短歌展
- ・絵画展
- ・川柳展
- ・書道展

※今年から表彰式は行いません。

[舞台部門]



11月3日(木・祝)

開場 午後1:30 / 開演 午後2:00

(出演予定団体)

- ・うぐいす会
- ・おしどり会
- ・紅葉会
- ・リズムダンス
- ・とんぼの会(日本舞踊)
- ・民謡千鳥会
- ・荒関社中(琴)
- ・オロロン太鼓の会
- ・こきりこ唄保存会

[幼児・小中学生作品展]

10月19日(水)~10月28日(金)

[あざらしおはなし会]

10月30日(日)

午前11:00~午前11:30

午後1:30~午後2:00

(内容)

- ・大型絵本
- ・大型紙芝居
- ・エプロンシアター
- ・手遊び

[バザー・蕎麦さろん東庵]

10月30日(日)

午前11:00~午後1:00

[茶会・茶道みどりの会]

10月30日(日)

午前11:00~午後1:00

お問い合わせは町民芸術祭実行委員会 62-1178(中央公民館)まで

北海道立羽幌病院からのお知らせ 【平成23年11月分外来診療体制】

診療科	月		火		水		木		金		応援医師	受付時間等
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後		
内科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—		8:00~11:00、13:30~15:30
(循環器内科)	—	—	—	—	予約	予約	—	—	—	—	留萌市立病院より	8:00~11:00、13:30~15:30
(呼吸器科)	—	—	—	—	—	—	—	—	○	○	重原医師	8:00~11:00、13:30~15:30
(総合内科)	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—	留萌市立病院より	8:00~11:00
(禁煙外来)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	予約		診療は14:00から
外科・整形外科	○	—	○	—	○	—	○	—	○	—		8:00~10:30
整形専門外来	第1・3火曜日(1日・15日) 午前・午後 毎週 木曜日(9:00~17:00)										留萌市立病院、渡部整形外科より	8:00~10:30
小児科	小児科医師の診療(下記以外は内科医師が午前中診療) ①毎週 木曜日 午前・午後 ②第2・3火曜日(8日・15日) 午前・午後										①札幌医大小児科より ②旭川医大 井上講師	8:00~11:00 13:00~15:00
婦人科	—	—	○	○	—	—	—	—	—	—	金野医師	8:00~11:00、13:30~15:00
ミルキー外来	—	—	予約	予約	—	—	—	—	—	—	当院助産師	電話にて申し込み
眼科	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	旭川医大より	8:00~11:00
皮膚科	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	札幌医大より	8:00~11:00
耳鼻咽喉科	第1・3・5水曜日※(2日・16日・30日) 午前中のみ										札幌医大より	8:00~11:00
泌尿器科	第2・4金曜日(11日・25日) 午前中のみ										札幌医大より	8:00~11:00
精神科	月1回(紹介患者のみ、完全予約制)										札幌医大 齋藤教授	

※ 耳鼻咽喉科は第5水曜日(30日)も診療する予定です。

お願い 緊急性のない軽症の方は、夜間・土日・祝日の受診は控え、平日の診療時間中に受診するようご協力をお願いします。

☞ 診療の予約・お問い合わせ 北海道立羽幌病院 ☎ 0164-62-6060 <http://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/hbb/>



◇◇◇ 今月の新刊 ◇◇◇

一般書

- 完盗オンライン**
 玖村 まゆみ 著
- よろずのことに気をつけよ**
 川瀬 七緒 著
- 半島へ**
 稲葉 真弓 著
- 里山だより**
 今森 光彦 写真・文
- 「実のなる木」でつくるカトラリー**
 山下 純子 監修
- 森永製菓のおやつにしましょ**
 森永製菓 著
- 15分おうちヘアカット**
 ZUSSO KIDS 著

児童書

- やなせたかしのメルヘン絵本**
 やなせ たかし 作
- ヒット商品研究所へようこそ!**
 こうやまのりお 著
- 米村でんじろうのイッキによめる!**
おもしろ科学 米村でんじろう 著
- アメリカンキッズ えいご絵じてん**
 笠井 貴征 監修
- ようかいガマどのおイケにカエる**
 よしなが こうたく 作
- ごはんのとも**
 荻田 澄子 作
- ぼくのトイレ**
 鈴木のりたか 作

◇◇◇ おすすめ ・ ご案内 ◇◇◇



腎臓病 たんぱく質40gの献立集
 宮本 佳代子 監修

腎臓を守る食事シリーズ第3弾。
 1食単位のたんぱく質量の表示をもとに1日分の献立を組み合わせます。外食の取り方や慢性腎不全の治療と食事のアドバイスも掲載しています。



ジワジワ来る〇〇(マルマル)~思わず二度見しちゃう面白画像集片岡 K 著

インターネットのツイッターで今、人気爆発。写真をぱっと見すると「あれ?」と思うけど、横の一言コピーを読んで二度見すると、ジワジワと面白くなるジワリ系面白画像集。

企画展

「はぼろ」～ふるさとも見つめて



普段はなかなか気付かない街並みの移り変わり、時の流れ。知っているようで知らない私たちの郷土「はぼろ」を図書室と郷土資料館の資料で振り返ります。羽幌出身の作家の作品や羽幌が舞台の小説まで、羽幌に関する様々な資料を展示します。

期間 10月27日(木)～11月13日(日)

あざらしおはなし会 11月12日(土) 午後2:00から

絵本の読み聞かせをしています。
 紙芝居や楽しい遊びもありますよ。気軽にご参加ください。



とうま
杉澤 斗真くん (1才8カ月)

父 伸二さん
 母 幸江さん

絵本が大好き斗真くん。保育園で毎日元気いっぱいです。



かいら
的場 夏衣梨ちゃん (2才1カ月)

父 緩さん
 母 久美子さん

ブロック遊びが大好き! いろんな形を上手に作れるよ!



掲載希望の3才までのお子さん募集中。
 詳しくはお問い合わせください。

総務課広報広聴係

☎ 0164-62-1211

✉ s-kouhou@town.haboro.lg.jp

10月に入りすっかり外は秋の空となりましたね。朝夕の冷え込みも日を増すごとに厳しくなり、ストーブが欠かせなくなってきました。季節の変わり目は風邪などひきやすいので、体調管理には十分に気をつけてください。さて、今月も情報たっぷりです。しっかりとチェックしておきましょう。

☎ 0164-62-1211
🌐 <http://www.town.haboro.lg.jp/>
✉ s-kouhou@town.haboro.lg.jp

お知らせ



10月から子ども手当が変わりました

子ども手当は、子どもの健やかな育ちを支援する制度で、中学校修了前までの子ども(施設入所等の子どもを除く)を養育している方が受給できます。「平成23年度における子ども手当の支給等に関する特別措置法」成立により、平成23年10月から半年間の子ども手当制度は次のとおりとなりました。

子ども1人あたりの支給金額(平成24年3月まで)
対象となる子どもの年齢および出生順により、次のとおり支給されます。所得制限はありません。

年齢区分	支給月額
3歳未満	15,000円
3歳～小学校修了前 (第1子・第2子)	10,000円
(第3子以降)	15,000円
中学生	10,000円

支給月
・平成24年2月(平成23年10月分～平成24年1月分)
・平成24年6月(平成24年2月分、平成24年3月分)
平成24年4月分以降は新たな制度として支給

子ども手当を受け取るには申請が必要です
10月分からの子ども手当を受け取るためには、審査を受けなければなりません。今まで受け取っていた方も含め、支給要件に該当するすべての方が申請してください(公務員の方は勤務先へ)。支給要件や申請方法はお問い合わせください。



申請・お問い合わせ
福祉課社会福祉係 ☎ 68-7004(課直通)

布類の収集にご協力を

資源として再利用するため布類の回収を次のとおり行います。洗濯した後、透明又は白色系の袋に入れてお近くの収集場所までお持ちください。料金は無料で、羽幌消費者協会が回収します。

日時 11月8日(火) 午前9:00～午後1:00
場所 ・川北老人福祉センター
・幸町南集会所
・中央公民館談話室(小ホール向)
回収するもの 綿50%以上の衣類など
ジャージ、ジーパン、布団などは回収できません

お問い合わせ
町民課環境衛生係 ☎ 68-7003(課直通)

「きらりコンポスト」を活用ください

生ごみからできた堆肥「きらりコンポスト」を配布します。この堆肥は、苫前町・羽幌町・初山別村の家庭などから収集した生ごみを発酵させたもので、窒素・リン酸・カリなどを含んだ有機物主体の特殊肥料です。家庭菜園などにご活用ください。



日時 10月29日(土) 午前10:00
場所 中央公民館駐車場(レストパーク側)
数量 3,000袋(無くなり次第終了)
ただし、受け渡しできる堆肥の数は、ひとり5袋以内。

お問い合わせ
町民課環境衛生係 ☎ 68-7003(課直通)

秋の全道火災予防運動「10月15日～31日」

秋も深まり暖房器具の使用も増え、火災が発生しやすい時季を迎えました。町内から死傷者の伴う火災や財産の損失を防ぎ、町民のみなさんの火災予防に対する意識を高めて頂くことを目的に、秋の火災予防運動を実施します。

住宅用火災警報器の立入検査にご協力を
消防署ではすべての住宅に義務付けられた住宅用火災警報器の設置を促進しています。まだ設置していないご家庭は、すみやかに設置しましょう。
なお、運動期間中に消防職員が立入検査に伺い、設置の有無を確認しますのでご協力をお願いします。

統一標語
「消したはず 決めつけないで もう一度」



お問い合わせ
北留萌消防組合消防署予防課 ☎ 62-1246

夕暮れ時の交通事故防止

秋を迎え、これから徐々に日が短くなります。夕暮れ時の交通事故防止のため、次の点に注意しましょう。

- ドライバーのみなさんへ**
- ・歩行者は車の接近に気づかないこともあります。歩行者の不意な行動に対処できるようスピードダウンを心がけましょう。
 - ・歩行者の動きを予測する「かもしれない運転」に努めましょう。
- 歩行者のみなさんへ**
- ・外出するときは明るい服を身に着けましょう。
 - ・夜間は、持ち物や衣服に夜行反射材をつけ、ドライバーに目立つようにしましょう。
 - ・横断するときは、遠回りになる場合でも必ず信号機や横断歩道を利用しましょう。



お問い合わせ
羽幌警察署 ☎ 62-1110

9月の交通事故・消防に関するお知らせ

羽幌警察署並びに消防署から9月における各件数などのお知らせです。

交通事故情報

区分	当月	(1月からの累計)
発生件数	2件	(4件)
死者	0人	(1人)
負傷者	2人	(3人)

消防情報

区分	当月	(1月からの累計)
救急出動	31件	(279件)
搬送人員	32人	(282人)
火災件数	0件	(2件)
損害額	0円	(10,092千円)
死者	0人	(0人)
負傷者	0人	(1人)

日赤羽幌町分区より報告



東日本大震災義援金 548万円
心温まる善意に深くお礼申し上げます

3月11日の東日本大震災で被災された方々の支援に、町民のみなさまから温かいご協力をいただきありがとうございます。
9月30日現在、日赤羽幌町分区にお寄せいただいた義援金は、56件 5,487,062円です。(町が役場窓口などに設置した募金箱分も含みます)

お預かりした義援金は、日本赤十字社北海道支部に送金し、同支部を通じて被災地の復興に役立てられます。

引き続き義援金を受け付けています
被災地の一日も早い復興を願い、義援金募集期間が平成24年3月末まで延長されました。
日赤羽幌町分区では、引き続き義援金を受け付けていますので、みなさまのあたたかいご支援をよろしく申し上げます。

義援金の受付・お問い合わせ
日本赤十字社北海道支部留萌地区羽幌町分区
☎ 68-7004(役場福祉課社会福祉係内)

❗ 環境教育指導者養成講習会

プロジェクト・ワイルド エデュケーター養成講習会 in羽幌

プロジェクト・ワイルドは「自然や環境のために行動できる人」を育成する環境教育プログラムです。さまざまな活動を体験し、理念やその指導方法、アレンジ方法を2日間で学びます。どうぞご参加ください。

日時 10月29日(土) 午前10:00～午後5:00
10月30日(日) 午前9:00～午後4:00
会場 北海道海鳥センター
対象 環境教育や体験学習に興味のある方。ただし、2日間とも参加できる方に限ります。
講師 環境共育事務所うてきあに代表 太田 稔 氏
参加費 4,000円(テキスト代) 再受講者は無料
定員 24名
申込期限 10月20日(木)

申込・お問い合わせ
北海道海鳥センター ☎ 69-2080

❗ 税の書道展作品展示

「税を考える週間(11月11日～17日)」にあわせ、小中学生を対象とした税の書道展を開催します。力強く書き上げられた作品の数々をぜひご覧ください。

期間 11月11(金)～11月17日(木)
会場 中央公民館ロビー



お問い合わせ
財務課税務係 ☎ 68-7002(課直通)

忘れずに！10月31日納期限の税金は、
道町民税(第3期分)
国民健康保険税(第4期分)

【毎月27日は納税出張窓口を開設しています】
会場：川北老人福祉センター ☎62-1424
時間：午前9:00～正午

🗨️ 海鳥センターの開館時間が変わります

北海道海鳥センターでは、地球温暖化対策(CO₂削減)のため次の期間、開館時間を一部変更します。

期間 平成23年11月1日から平成24年3月30日まで
開館時間 (火曜～金曜) 午前9:00～午後4:00
(土・日・祝日) 午前9:00～午後5:00



お問い合わせ
北海道海鳥センター ☎ 69-2080

イベント・行事

❗ 日常生活での膝痛・腰痛予防を学ぼう

年齢を重ねることで膝や腰が痛くなることは一般的に多く、誰もが経験していることでしょう。痛いからといって体を動かさないと、余計に筋肉が落ち体も弱ってきます。適切な動きによりいつまでも若々しくいられるよう、一緒に運動しませんか。



日時 10月26日(水) 午前10:00～午前11:30
会場 総合体育館パワデール
対象者 町内在住の65歳以上の方
講師 財団法人 さっぽろ健康スポーツ財団
健康運動指導士 佐竹 恵治 氏
東京都健康長寿医療センター 都老人総合研究所
研究副部長 大淵 修一 氏
持ち物 運動しやすい服装、運動靴、タオル、水分
ストレッチマットをお持ちの方は持参ください。
参加費 無料

申込・お問い合わせ すこやか健康センター内
福祉課地域包括支援センター係 ☎ 62-6020

🗨️ 地域若年者雇用奨励金・補助金のご案内

若者の仕事場づくりを応援

北海道では、新規開業・新事業展開のため若年者(39歳以下)を正社員として2名以上雇用した中小企業者やNPO法人等に、奨励金・補助金を交付します。

若年者雇用奨励金(上限10人)

- ・雇用人数2～4人の場合 1人あたり15万円を交付(既卒3年以内の方は20万円)
 - ・雇用人数5人以上の場合 1人あたり30万円を交付
- ### 事業費補助金
- ・交付金額 対象経費の1/2(上限150万円)
 - ・対象経費 設備投資、運転資金ほか

お問い合わせ
留萌振興局商工労働観光課 ☎ 0164-42-8440

🗨️ 役場地球温暖化対策実行計画の結果公表

町では、平成21年9月に「羽幌町役場地球温暖化対策実行計画」を策定し、役場の仕事から排出されるCO₂(温室効果ガス)の排出抑制に取り組んでいます。

平成22年度の点検・検討結果

計画2年目となる平成22年度の温室効果ガスの削減率実績は、0.07%の増となりました。

厳冬による暖房器具使用や対象管理施設の増加が主な要因と考えますが、今後は対象施設の増減を加味した目標値の見直しを行いつつ、職員1人ひとりが環境意識を高め、温室効果ガス削減の取組みに努力していきます。

温室効果ガスの削減状況

温室効果ガス	平成19年度 (基準年度)	平成22年度 (実績)	平成25年度 (目標年度)
排出量(kg)	2,802,096.9	2,804,049.3	2,577,928.9
削減量(kg)	-	1,952.4	224,168.0
削減率(%)	-	0.07	8.0

温室効果ガス排出量は、役場庁舎などの燃料や電気の年間使用料に、二酸化炭素排出係数を用いて計算し算出しています。計画や点検・検討結果の詳細は、町ホームページでご覧になれます。

お問い合わせ
町民課環境衛生係 ☎ 68-7003(課直通)

🗨️ 除雪サービスを希望する方はお申し込みを

高齢または身体上の理由で自力で除雪することが困難な世帯を対象に、除雪サービスを実施します。希望される方はお申し込みください。

対象世帯 市街地区在住でおおむね65歳以上の除雪支援が必要と思われる単身・夫婦世帯。(ただし、次の～にあてはまらない方)

- ①近隣住民、町内会などによる除雪支援を得られる
- ②町内に子が居住している
- ③本人の身体・収入状況等により除雪サービスの提供が必要ないと判断できる

実施期間 平成23年12月1日～平成24年3月16日(予定)

利用者負担 無料
除雪サービスの内容

積雪がおおむね15cm以上となった場合、1日1回、玄関前の除雪を実施。

申込期限 平成23年11月4日(金)

詳しくはお問い合わせください。なお、離島地区の方は個別に対応します。



申込・お問い合わせ すこやか健康センター内
福祉課地域包括支援センター係 ☎ 62-6020

🗨️ 必ずチェック！北海道最低賃金

道内で事業を営む使用者及びその事業場で働くすべての労働者(臨時、パートタイマー、アルバイトなどを含む)に適用される北海道最低賃金(地域別)が次のとおり改正されました。



最低賃金額 時間額 705円
効力発生日 平成23年10月6日

最低賃金には、精皆手当、通勤手当、家族手当、臨時に支払われる賃金、時間外等割増賃金は算入されません。最低賃金額以上の賃金を支払わない場合は、最低賃金法違反として処罰されることがあります。

お問い合わせ
留萌労働基準監督署 ☎ 0164-42-0463

11月の保健・子育てカレンダー

町内で行われる保健事業や子育て教室などの日程です。内容など詳しくはお問い合わせください。

日程	事業	受付・実施時間	会場
2日(水)	3歳児健診	午後0:30～	健康センター
7日(月)	苺くらぶ	午前9:30～	健康センター
7日(月)	高齢者インフルエンザ予防接種(市街)	午後1:00～	中央公民館
8日(火)	※詳しくは別に配布するチラシでご確認ください		
9日(水)			
14日(月)	小苺くらぶ	午前9:30～	健康センター
16日(水)	あいあいサークル	午前9:30～	健康センター
16日(水)	乳児健診	午後1:00～	健康センター
21日(月)	高齢者インフルエンザ予防接種(市街)	午後1:00～	中央公民館
24日(木)	苺くらぶ	午前9:30～	健康センター
28日(月)	小苺くらぶ	午前9:30～	健康センター
30日(水)	あいあいサークル	午前9:30～	健康センター

「うさこちゃん あそびの広場」で遊ぼう

親子で参加できる子育て教室です。楽しい子育ての輪、友だちの輪を広げませんか。

日時 毎週火・金曜日 午前9:30～午前11:00

会場 すこやか健康センター

対象 幼稚園・保育園に未入園のお子さんと保護者

内容 保育士による手遊び ほか



お問い合わせ すこやか健康センター内
福祉課保健係 ☎ 62-6020

11月の急病診療当番医

道立羽幌病院は、土・日曜日及び祝日を含め、救急診療を行っています。

20日(日) 加藤病院
(南6条5丁目)
☎ 62-1005



健康

がん検診無料クーポン券を送付します

子宮頸がん・乳がん・大腸がん検診の受診率向上を目指して、特定の年齢に達した方にがん検診を無料で受けられる「クーポン券」を送付します。

ぜひ、この機会に受診してください。対象者は次のとおりです。



対象者

平成23年4月20日を基準として羽幌町に住民登録がある方で、4月1日現在、次の年齢の方

■子宮頸がん検診(問診・視診・細胞診) 20, 25, 30, 35, 40歳の女性

超音波検査、体部検査は無料になりません。

■乳がん検診(問診・視触診・マンモグラフィ) 40, 45, 50, 55, 60歳の女性

■大腸がん検診(問診・検査キットによる検査) 40, 45, 50, 55, 60歳の男性・女性

有効期限 平成24年3月31日まで

使用方法

町の集団検診で使用できるほか、個別(病院)の検診は、クーポン券郵送時に同封の文書でご確認ください。

お問い合わせ すこやか健康センター内
福祉課保健係 ☎ 62-6020

子宮頸がんワクチン予防接種のおしらせ

4月から中学1年生～高校1年生の女子を対象に費用助成を行っている子宮頸がん予防ワクチン接種は、ワクチンの十分な効果を得るため3回の接種、6カ月間の期間が必要です。

国の補助が平成24年3月末で終了することから、町ではそれまでに1回でも接種を終了していれば、4月以降も残りの回数分の費用を助成します。

本人または保護者の希望で行う任意接種となりますので、効果・副反応を十分に理解したうえで接種の判断をお願いします。

お問い合わせ すこやか健康センター内
福祉課保健係 ☎ 62-6020

11月の定例相談

年金相談

年金の加入状況の確認、納付書や年金手帳の再発行依頼など年金に係る相談を受け付けています。

相談には予約が必要です

希望される方は、相談日の一週間前までにご予約ください。(定員になり次第、締め切ることがあります)

日時 11月10日(木) 午前10:00～午後4:00

会場 役場4階 大会議室

予約・お問い合わせ

日本年金機構留萌年金事務所 ☎ 0164-43-7211

行政相談

行政に関することでわからないことがあれば、お気軽にご相談ください。相談内容の秘密は厳守されます。

日時 11月9日(水) 午前9:00～正午

会場 役場1階 相談室

お問い合わせ

町民課総合受付係 ☎ 68-7003(課直通)

心配ごと相談

住民のみなさんの心配ごとへの対応として、毎月1回開催しています。

日時 11月21日(月) 午後1:30～午後4:00

会場 勤労青少年ホーム

お問い合わせ

羽幌町社会福祉協議会 ☎ 69-2311

健康相談

保健師と栄養士による健康相談を行っています。町内在住の方なら誰でも利用できます。毎回体重・体脂肪測定、血圧測定、健康の話、軽い運動をしています。健康手帳をお持ちの方は、ご持参ください。

月日 11月22日(火)

会場 川北老人福祉センター(午前10:00～午前11:30)
すこやか健康センター(午後1:00～午後3:00)

お問い合わせ

すこやか健康センター内
福祉課保健係 ☎ 62-6020

募集

平成24年羽幌町成人式参加者募集

平成24年の新成人をお祝いします。町外からの出席も可能ですのでお申込みください。



日時 平成24年1月8日(日) 午後1:00から

会場 中央公民館

対象 平成3年4月2日～平成4年4月1日生まれの方

申込方法

■羽幌町に住民登録のある方

申込みはいりません。

■羽幌町に住民登録のない方

12月9日までにお申込みください。(保護者からの申込みも可)なお、12月10日以降に申し込まれた場合、式典には参加できませんが、成人者名簿に記載されません。

申込・お問い合わせ 中央公民館内

社会教育課社会教育係 ☎ 62-5880

相談

障がいに関することご相談ください

生活のしづらさや将来に不安を感じている方を対象とした巡回相談です。

年齢や障がいの種類、障害者手帳の有無は問いません。無料で相談できますので気軽にご利用ください。

日時 毎週 木曜日 午前9:00～午後5:00(祝日除く)

会場 川北老人福祉センター

連絡・お問い合わせ

留萌圏域障がい者総合相談支援センター「うる」

☎ 0164-43-7575 ✉ wel-sien@bz01.plala.or.jp

人のうごき

平成23年9月届出分を掲載(希望者のみ)

おたんじょう

出町 柚 <small>ゆずちゃん</small>	(和樹・世里香)	南大通 1
田中 琉輝 <small>りゅうきくん</small>	(英美・千鶴)	幸町
長瀬 拓真 <small>たくまくん</small>	(雅史・由妃)	南町
工藤 来心 <small>らいしんくん</small>	(慎也・莉沙)	朝日

おくやみ

安井 カツ <small>さん</small>	73歳	南 6 の 1
須田 富男 <small>さん</small>	68歳	南 6 の 5
伊藤 つゆ <small>さん</small>	96歳	栄町
川島 菊枝 <small>さん</small>	102歳	栄町
木村 梶雄 <small>さん</small>	87歳	栄町
土清水 ツメノ <small>さん</small>	82歳	栄町
中山 誠市 <small>さん</small>	81歳	栄町
吉松 フミ子 <small>さん</small>	69歳	上羽幌
工藤 シモ <small>さん</small>	92歳	朝日
八谷 善吉 <small>さん</small>	91歳	焼尻



羽幌ゲートボール連合 会長

齊藤 重雄さん (80才・北4の2)

ゲートボールは
試合での緊張感と
仲間との交流が魅力です

「練習や試合、それに老人クラブのいろんな活動もあるし、家庭菜園を築別でやっているしね。一日中家にいることってあまりないねえ。1年あつという間に過ぎるんだわ」そう語るのは、羽幌ゲートボール連合会長の齊藤さん。川北老人クラブの会長でもあり、羽幌町老人クラブ連合会の副会長も務めています。現役時代は郵便局に勤務。「転勤先の豊富町兜沼でゲートボールやっていたのを見てねこれはおもしろいもんだなあと思つたのがきっかけで始めたのさ。老人クラブとかに入る前の話です」と言い、以来奥様と一緒に続けられゲートボール暦は30年以上です。「管内大会で他町と試合すると緊張感がまったく違つて自分たちだけでこじんまりやつても上達しないんですよ。みんな元気いいですよ。元氣いいからできるのかやつてるから元氣いいのか、どつちかね。やつぱり好きでないといけないけどね」「飛びぬけて上手な人がいてもだめで、監督を中心に、チームワークが一番大切ですよ」と笑顔。「雪が降るまでにまだ大会が二つあるし、がんばってます。80歳以上の人も多いけど、私も見習わなくてはならないことが沢山あります」とやる氣满满で話してくれました。

編集後記

先日のテレビで「スポーツGOMI拾い」のニュースが取り上げられていました。その名のとおりごみ拾い(奉仕活動)の競技(スポーツ)。あらかじめ決めたエリアで制限時間内に拾ったごみの重さや質で勝敗が決まる日本発祥の新しいスポーツです。誰でも経験があり、子どもたちも大人と対等に戦えることもひとつの魅力といえます。スポーツGOMI拾い連盟の公式サイトでは、競技を通して改めて街を知る、子どもたちの環境意識を高めるきっかけになればと全国で普及を目指しています。スポーツとなれば重要なのはチームワーク。街がきれいになると同時に、コミュニケーション力アップにも効果がありそうですね。(Y)

人口と世帯数(9月末)

人口	8,041人	(- 32)
男	3,812人	(- 14)
女	4,229人	(- 18)
世帯数	3,878世帯	(- 13)

()は前月比

